

シンポジウム

# シリア紛争にみる

# 人道支援の限界と挑戦

シリア NGO が来日 \*英語→日本語逐次通訳つき

日時 2017年 **10月14日(土)** 14:00-17:00 (開場13:30)

会場 **立教大学 池袋キャンパス 14号館D201教室** (東京都豊島区西池袋3-34-1、JRほか「池袋」駅7分)

定員 250名 参加費無料

解決の糸口さえ見えないシリア危機。止まない戦闘や空爆でおびただしい数の命が失われ、生き残った人たちも多くが負傷し、破壊された町で食糧、医療、教育など、あらゆるものの欠乏に苦しみながら日々を送っている。援助団体が明らかな攻撃対象となる中、国連や国際 NGO は職員を国内に派遣することもままならない。それにより人々の困窮はいや増す中、救助や人道支援を現場で実際に担っているのは、シリア人やシリアの NGO、ディアスポラと呼ばれる在外シリア人による組織である。

日本ではほとんど報道されない、シリア国内での人々の暮らしとは。人道支援活動の実態と課題は。

戦下で活動するシリア NGO の代表者が来日して報告するとともに、シリア政治の専門家、現地団体と協力して支援を届ける日本の NGO らと、人道支援の限界と挑戦を考える。

登壇者

## ファディ・アル-ダイリ

Hand in Hand for Syria 共同創設者

## 青山 弘之

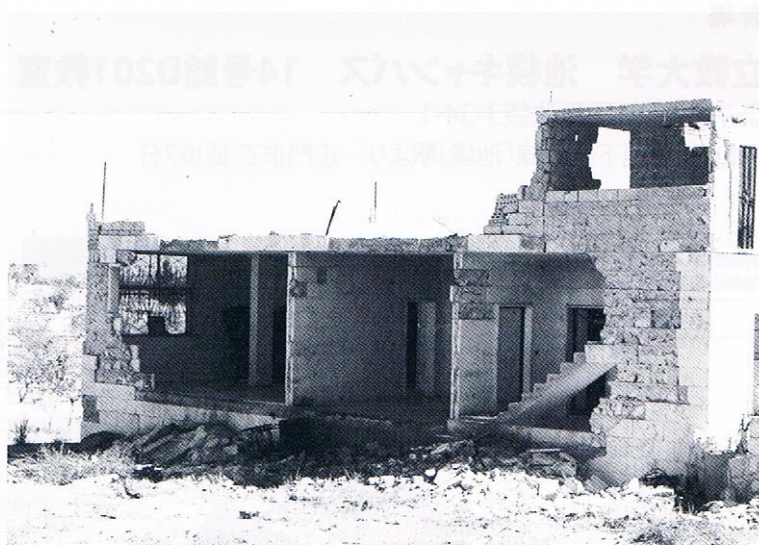
東京外国語大学(専門:現代シリア政治)

## 長 有紀枝

立教大学 21世紀社会デザイン研究科教授  
/AAR Japan [難民を助ける会] 理事長

## 高城 大吾

元AAR Japan [難民を助ける会] シリア支援担当



主催 立教大学 21世紀社会デザイン研究科・社会デザイン研究所

共催・お問い合わせ先 AAR Japan [難民を助ける会]

Tel 03-5423-4511 [www.aarjapan.gr.jp](http://www.aarjapan.gr.jp)

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル7F